

▼幸手市の取り組み

○コンポストや電動式生ごみ処理機などの購入費一部補助

市では、家庭から排出される生ごみの減量化を促進することを目的として、コンポストや電動式生ごみ処理機などの購入費の一部を補助しています。

対象 つぎのすべてに当てはまる人

- ・市内に住民登録があり、現にお住まいの人
- ・自宅に設置し、継続的に使用できる人
- ・堆肥化されたごみを自家処理できる人

内容 以下の区分ごとに予算の範囲内で交付

	コンポスト・EM 容器	電動式生ごみ処理機
補助金額	2,000 円 ※購入価格(税込)が2,000 円未満の場合は購入価格	購入価格(税込)の1/2 の額 ※上限 10,000 円
補助基数	2 基 / 1 世帯	1 基 / 1 世帯



※申込み方法や必要な添付書類などの詳細については、環境課にお問い合わせください。

問合せ 環境課 ☎(48)0331・FAX(48)2226

——食べ物の「もったいない」を「ありがとう」へ——

「幸手市フードドライブキャンペーン」を実施します！

11/
27月・28火

「フードドライブ」とは、各家庭で使いきれない未使用の食品を集め、集めた食品を必要とされる団体や個人へ寄贈する活動です。

市と社会福祉協議会では、市民のみなさんを対象にフードドライブキャンペーンを実施します。

日時 11月27日(月)、28日(火)午前10時～午後3時

場所 ウェルス幸手1階 ソーシャルクラブ交流コーナー

対象食品 賞味期限が2か月以上余裕があり、未開封で常温保存できるもの

例)○ 米、レトルト食品、インスタント食品、缶詰、調味料、菓子類、飲料(缶、ペットボトル)、乾麺、乾物(ふりかけ、海苔)など

× 古米(収穫から2年が経過したもの)、生鮮食品、冷蔵・冷凍食品、アルコール、賞味期限不明品、開封品



※提供いただいた食品は、市内の子ども食堂活動団体などにお渡しする予定です。

ご協力よろしくお願いします！

問合せ 環境課 ☎(48)0331
こども支援課 ☎(42)8454
社会福祉協議会 ☎(43)3277

10月は「食品ロス」削減月間

食品ロス

日本で年間 523 万トン

1人1日 お茶碗1杯

捨てられています



食品ロスってなあに？

食品ロスとは、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品のことです。食品ロスは、日本で年間約523万トンと推計され、日本の人口1人当たり1日「茶碗約1杯分(113g)」が毎日捨てられている計算になります。みなさんは、まだ食べられるのに捨てられている食べ物がこんなにあることを知っていましたか？

食品ロスは、大部分が生ごみとして焼却処理されるためCO2排出や焼却後の灰の埋め立てなどによる環境負荷も考えられます。

▼食品ロスを減らすには

○ご家庭編

①適切に保存する

- ・食品に記載された保存方法に従って、保存する
- ・一度に食べきれない野菜は、冷凍・乾燥などで下処理し、小分け保存などして食材を長持ちさせる工夫をする



②食材を上手に使いきる

- ・残っている食材から使いきる
- ・作り過ぎて残った料理は、リメイクレシピなどで工夫する

③食べきれぬ量を作る

- ・家族の体調や健康、予定も配慮し、食べきれぬ量を作る

○お買物編

①買物前に、食材をチェック

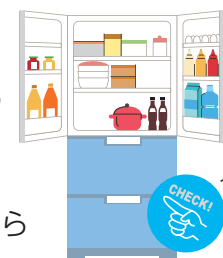
- ・無駄をなくするため、買物前に冷蔵庫や食品庫にある食材を整理、確認する
- ・冷蔵庫の中身をメモ書きや携帯、スマホで撮影し、買物時の参考にする

②必要な分だけ買う

- ・まとめ買いを避け、使う分、食べられる量だけを買う

③期限表示を知って、賢く買う

- ・利用予定と照らして、期限表示を確認する
- ・すぐ使う食品は、棚の手前から取る



▼生ごみを出すときは水切りを

食品ロスを減らす工夫をしても、生ごみをゼロにすることは難しいと思います。生ごみは焼却処理をします。水分を多く含んでいると燃えにくいので、燃料をより多く使用します。生ごみを燃やせるごみとして出すときは、よく水を切り水分を減らしましょう。

○水切りをすると…

- ・生ごみが腐敗しにくく、悪臭を軽減できる！
- ・ごみが軽くなるので、ゴミ収集車の運搬効率が良くなりCO2排出削減！
- ・焼却時に使用する燃料が減り、CO2排出量削減！